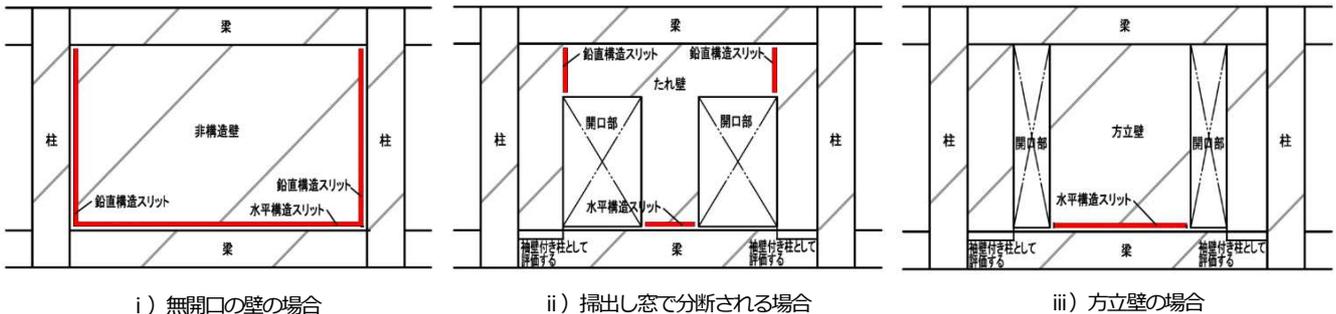


[2021年4月2日]

あと施工部分スリット工法『AWAT 工法』の追加評定取得

これまで採用できなかった壁に水平・鉛直スリットを採用可能

- 鉄建建設株式会社（本社：東京都千代田区、社長：伊藤泰司）は、株式会社エフアイティー（本社：東京都墨田区、社長：篠原友徳）と共同開発した『あと施工部分スリット工法（AWAT 工法）』の一般評定（評定番号 CBL RC004-20 号）を2021年2月24日付けで一般財団法人ベターリビングより追加取得しました。
- AWAT 工法は、非構造壁と柱の間にスリットを設け、構造的に縁切りをすることで柱の変形性能を向上させ、既存建物の耐震性能を向上させる、あと施工スリット工法のひとつです。
- 今回取得した評定内容は、鉛直部分スリットに加えて水平部分スリットの評価法が一般評定に追加されました。これまでに腰壁・たれ壁・袖壁については鉛直部分スリットの評価法を確立しており、耐震改修設計に活用されていましたが、今回、新たに水平部分スリットの評価法を確立したことで、これまで採用できなかった壁への適用が可能となりました。



- AWAT 工法の特長は、水の代わりに泡溶液を用い、切断泡を製造してウォールソーおよびコアドリルにより切断・穿孔して壁に部分スリットを形成する点です。水を用いて施工する場合と比較して 1/10 の量の泡溶液で施工できるため、内部への漏水が防止され、切断汚泥の排出も少なく、さらに騒音・振動・粉塵も低減されます。
さらに、AWAT 工法は、サッシ周りの詰めモルタルを撤去する要件を省略することが可能となるため、サッシを取り替えずにスリットを形成することができ、施工コストや居住者への負担が大幅に低減できます。
- 今回の追加評定でこれまで適用を諦めていた案件も施工可能となり需要拡大が見込めます。現在、「AWAT 工法研究会（問合せTel.03-5637-7002）」の加盟各社において、官公庁・民間の耐震改修工事への施工実績を上げております。

以上



鉛直スリット施工状況



水平スリット施工状況

お問い合わせ先

〒101-8366 東京都千代田区神田三崎町 2-5-3

TEL 03-3221-2297 FAX 03-3221-2379

鉄建建設株式会社 経営企画本部 広報部